

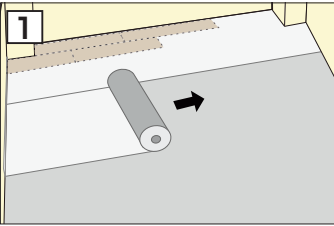
アドロイズ・クイックフローリングの施工方法とメンテナンス

施工方法

〈 施工に必要な工具 〉

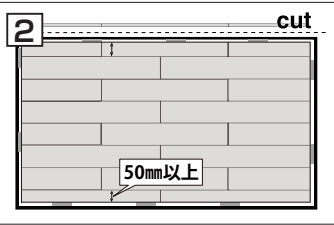
- メジャー
- カッター
- 丸鋸 (まるのこ)
- スペース (クリアランスの幅に合わせて現場でベニア板等をカットしてください。)

[施工手順]




1 防湿シートを敷く

- 壁側まで隙間がないように、長手パネルを貼る方向に防湿シートを敷いてください。
- ※ すき間のないようシート表面の両面テープで、シート同士をしっかりとめてください。
- ※ 発泡層を上にして使用します。(2mm タイプは白が上)



2 割り付け

- 最終パネルの短手が 50mm 以上で納まるように割り付けします。
- 最終パネル幅調整後、一列目のパネルを切断してください。
- ランダム貼りかウマ貼りで施工してください。



3 貼り始め

① 石膏ボードを上げることが出来る場合(スペーサーは使えません。)

② 石膏ボードを上げられない場合

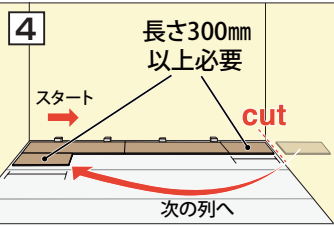
- 仮クギを打って、フローリングが石膏ボードの奥に入り込まない様仮止めしてください。
- 最後に必ず仮クギを外してください。クリアランスが取れなくなりフロアの浮きや床鳴りにつながります。

● 壁際等には最低5mm以上のクリアランス(調整幅)が必ず必要となります。

前ページ標準納まり②又は③を参照の上、「必要クリアランス」の表に記載のクリアランスをとってください。

※ 専用スペーサー (RWCL-14822) をご使用ください。

● 凸サネを壁側にし左側から貼り始めます。



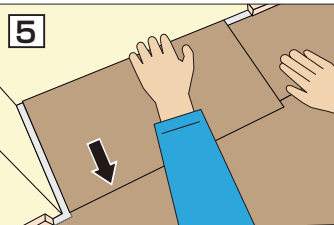
4 パネルの切断

長さ300mm以上必要

スタート → cut


次の列へ

- 列の最後に切断したパネルを次列の最初に敷きます。
- 最初 1 ~ 2 列目はパネルが動きやすいので押さえながら施工してください。



5 最終パネル列

- 最終列のパネルは引き寄せながら貼ってください。
- 10m 以上貼り伸ばすような場所では、T 字型の見切り材を入れてください。
- パネルの幅が 50mm 以下になる場合はウレタン系の接着剤を使用してください。

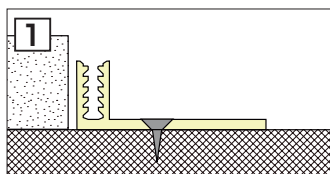


6 完成

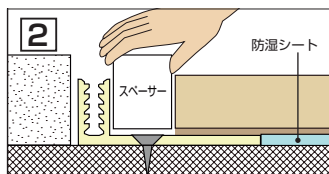
- スペーサーを取り外し、巾木、見切り材等を取り付けたら完成形です。

見切り材の取付方法

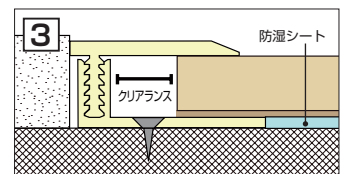
■ L字型見切



- 壁側に L 字型見切りベースを取り付けます。ビスで取り付けてください。

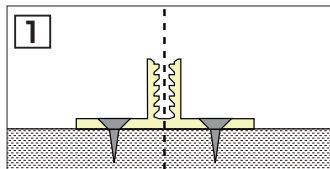


- スペーサーを前にはさみ、施工を開始します。
- 防湿シートは L 型見切りベースの手前までとします。見切り材の上にはのせないでください。

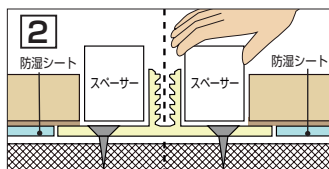


- スペーサーをはずし、見切り材本体を上からかぶせてください。

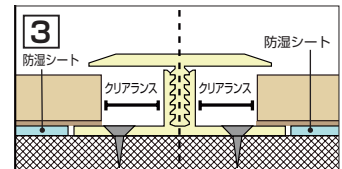
■ T字型見切



- T 字型見切りを取り付けます。ビスで見切りベースを取り付けてください。



- スペーサーを前にはさみ、施工を開始します。
- 防湿シートは T 型見切り材の手前までとします。見切り材の上にはのせないでください。

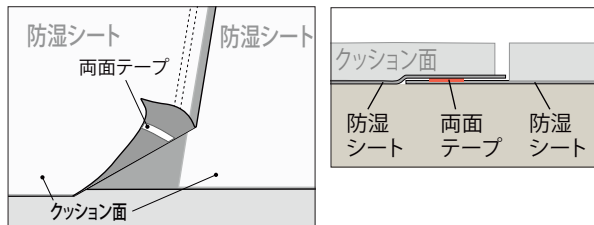


- スペーサーをはずし、見切り材本体を上からかぶせてください。

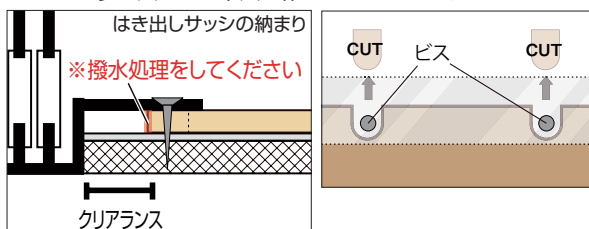
[施工方法 注意点]

- 置き敷き工法で施工してください。(ノリやクギは使用しないでください。)
- ホコリやゴミがないように施工前に下地の清掃をしてください。
- 下地の上には必ず防湿シートを敷いてください。

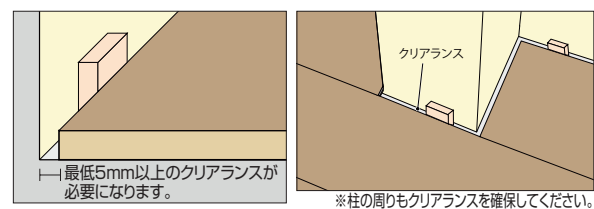
- 防湿シートは裏面の両面テープをはがしクッション部分が重ならないように敷いてください。



- ビスで固定するようなサッシやクローゼットの下枠は、固定するビスより少し大きめな下穴を作ってからとめてください。

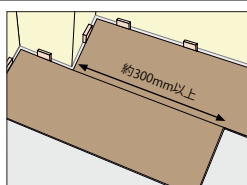


- 本製品は湿気により伸縮するため、壁際には5mm以上のクリアランスを確保してください。

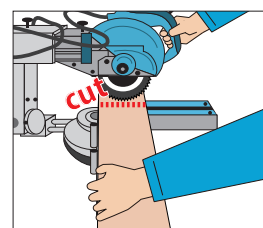


※クリアランス不足は、伸縮によるふくらみや音なりの原因となります。

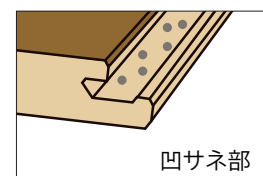
- 上パネルとの重ねシロが300mm以上になるように施工してください。



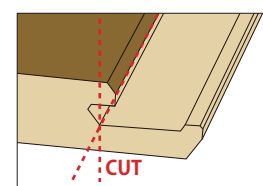
- パネルを切断するときは、裏側から切断してください。



- 凹サネにゴミが入りやすく、そのまま施工すると隙間が開いてしまいます。凹み部分のゴミを取り除きながら施工してください。



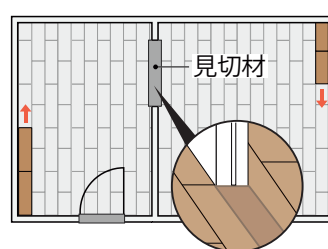
- 見切材の下になるパネルはカットしてから施工してください。



- 重量物が部屋の一部にある場合、L型床見切材などによりクリアランスを設けるようにしてください。



- 見切材は最大10m以内の間隔で取り付けてください。ゆがみを防止するため、できる限り各部屋ごとに見切材を入れることをおすすめします。



床暖房をご使用する場合

- フローリングの表面温度が29℃を越えないようにしてください。
- 床暖することで室内が乾燥してきますので湿度管理を良くしてください。

メンテナンス



- ワックスは不要ですので掛けないでください。



- 日常のメンテナンスはモップや空拭きで清掃してください。
- 清掃時に水を直接使うような事は避けてください。かたく絞った雑巾や乾拭き程度で構いません。しつこい汚れは中性洗剤を少量使って落としてください。